

## タイトル 会津地方雪害支援対策について

JA名 JAあいづ

1 動機 (経緯)	平成 22 年 12 月 25 日～26 日に向け、会津地方を中心に記録的な降雪及び積雪があり、農作物をはじめパイプハウスに大きな被害がありました。 このことから、会津地方 3 JA により JA グループ及び県・市町村に対し支援要請を行い、当 JA あいづも以下の支援対策を実施いたしました。
2 概要	(1) ハウス再建のための助成 JA に農産物を出荷している農家のパイプハウスが被災したことから、その再建のために JA より購入した骨材に対し「最高 10%」の助成を行いました。 (2) 低金利の融資資金（取扱実績：8 件，7 百万円） 会津若松市農業経営資金（認定農業者無利子資金），農機ハウスローン（JA バンク利子助成対象資金）等の資金によりパイプハウスの再建のための資金提供を行いました。 (3) 購買未収金支払期限の猶予 購買未集金については、被災したパイプハウスで使用した「肥料・農薬」に限り、支払期限を延長いたしました。 (4) 廃プラ費用の助成 被災したパイプハウスにかかる廃プラ費用については、JA が費用の 1 / 3 を助成いたしました。 (5) ハウスの修復・撤去作業の応援 被災したパイプハウスの修復・撤去作業について JA 職員が支援しました。
3 成果 (効果)	JA に農産物出荷等をいただいている農業者について、今回のように自然災害を受けたときなどは行政及び JA 系統の支援を通じ、いち早い再建が可能となる他、災害時における低金利の農業資金の利用をアピールすることができました。 JA 利用者の満足度向上につながるとともに今後の系統利用の増加にも期待が持てる結果となりました。
4 今後の 予定（課題）	現状では、認定農家・担い手農家だけが無利子資金対応となる資金援助が多く、小農家に対する支援が少ない状況です。JA を利用する様々な農家に対する支援の仕組み構築が必要だと感じました。

(降雪により倒壊したパイプハウス)

